

日本共産党 西宮市会報告

2016年10月 NO.105

発行/ 日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号（西宮市役所内）
 Eメール: nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
 ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

もっと市民の暮らし応援を！

9月議会では、2015年度決算認定が審査されました。日本共産党西宮市会議員団は、余裕ある財源が市民の暮らし応援に十分活用されていないと決算に反対。各分科会で問題点を明らかにし、新年度予算編成に向け、奮闘しました。



総務分科会

杉山たかのり

事実上330億円の資金余裕

2015年度決算は、基金(貯金)を取り崩すことなく 221億円を維持、県貸付金(盤溝トンネル無料化(2017年度末)後返還予定)12億円、アサヒビール跡地購入のための公社貸付金55億円、その他の財源を合わせると事実上 330 億円もの資金余裕があることが明らかに。市は「予断を許さない」と言いますが、市民生活の応援にもっと有効に使うことを求めました。政務活動費では、「1議員1種類1部の基準で新聞を5紙購読している議員もあり、市民から見て基準が甘いのでは」とさらに使途基準の厳格化を求めました。



民生分科会

まつお 正秀

国民健康保険会計の基金を保険料抑制に使えるよう、今年度中に条例改正が行われる事となりました（裏面参照）。分科会でまつお議員は、多子世帯の保険料負担が重くなっている要因である保険料均等割について取り上げ、毎年特別減免に1億円の予算計上しながら半分以上が使い残されており、その分で子ども2人目以上の減免ができると指摘。早急に減免を拡充して子育て支援するよう求めました。また今後、現地で建て替えが予定されている市立中央体育館について、自然再生エネルギー設備の整備を強く求めました。



国保料減免の拡充を

教育こども分科会

野口あけみ



芦原、むつみ保育所は存続を！

4月時点で、希望通り保育所に入所できなかった児童数は636人にのぼり、9月1日にはさらに増えて969人となりました。市では待機児童対策として、今年度から3年間で1500人の受け入れ枠拡大、保育士確保等にとりくんでいます。

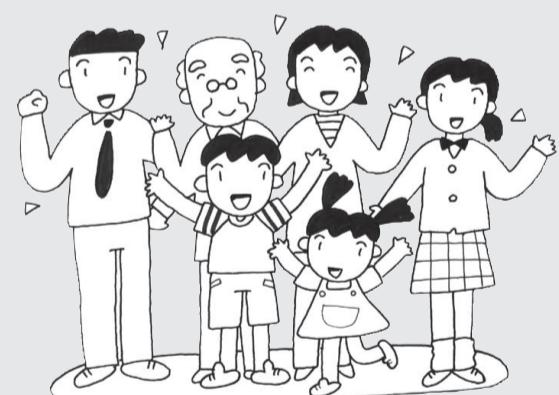
野口議員は、芦原町に計画中の芦原むつみ統合保育所（150人定員でスタート）完成後、既存の芦原は60人定員で当面存続、むつみは廃止するという市の方針は、当然見直し、芦原、むつみ両保育所とも有効活用すべきと指摘。局長は「検討する」「12月議会には待機児童対策の進み具合を報告したい」と明言しました。

健康福祉分科会

援護資金貸付は保証人をなくせ

佐藤みち子

た。他の議員からも「借りやすくすべきだ」との声が出されました。



建設分科会



庄本けんじ

新築市営団地の空き住戸、UR借り上げ入居者にも斡旋を



いますが、多くの新築空き住戸を残していることから、市が期限を切って全員退去を求めているUR借り上げ市住入居者にも、希望があればコミュニケーションでどの住替え斡旋せよと求めました。

次いで甲子園春風町団地など新築団地を整備。老朽団地からの住替えを進めて

重要な役割を果たしている。また西宮市としても公設市場の開設者として長年責任をもってかかわってきていました。上田、庄本両議員は「卸売市場は、市内事業者に対する食材提供や、農業振興、産業振興、食育推進など、側の西宮駅西市場再整備計画が進められています。この整備での新市場整備としています。



上田さち子

卸売市場整備に公的支援は必要ではないか

日本共産党提案**福祉用具貸与自己負担
反対など「意見書」
全会一致で採択**

安倍自公政権は、介護保険の要介護2以下の人々の福祉用具貸与や住宅改修について1割負担から全額自己負担に改悪しようとしています。保険料は年金から有無を言わざり天引きしながら介護を取り上げることは到底許せません。日本共産党市議団は福祉用具等が自己負担になり、利用しにくくなれば転倒などが発生しやすくなり介護度の重度化を招くことになると「軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書」を提案、また、「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額の廃止を求める意見書」を提案。両意見書については9月16日の本会議において全会一致で採択されました。



野口あけみ議員

した。

上田さち子議員はこれまでの質問で、国保特別会計は黒字続きで、ため込まれた基金は27億円以上であることを明らかにし、これ

**高すぎる国民健康保険料
の抑制・引き下げへ
—来年3月「基金条例」改正—****勤労会館などの
トイレ改修スタート！**

上田議員はこの他に、建替えられた新築市営住宅団地に多くの空き家が希望する市民に一般公募をと求めました。

の基金の活用で保険料引き下げを、と求めてきました。今議会でも追及し、市民局長は「被保険者の保険料負担が重くなっている。基金を負担軽減に活用できるよう、来年3月議会に基金条例改正の提案をする」と明確に答弁しました。ようやく高すぎる保険料引き下げへ動き出しました。

次に上田議員は、多くの市民が利用する勤労会館や勤労青少年ホームのトイレ改修を求めました。上田議員はこの他に、

参院選後、安倍政権は昨年4月からの改悪に続く介護保険制度の改悪案を次々打ち出しています。

一般質問に立った野口あけみ議員は、まず昨年以降の実態を明らかにしました。低所得者に施設入所の要件を厳しくしたことにより、約3千人の対

応対象者を拡大し、先々は原則2割負担にしようとしています。

また、来年4月から要介護が総合事業に移行され、西宮では訪問介護はこれまでの専門職による援助に限定した研修修了者によるサービスが始ま



杉山たかのり議員

**UR借上げ市営住宅問題
同様に扱うべき**

ました。

市は司法の判断待ちを理由に「していない」と答弁。震災時は借上住宅は恒久住宅として扱いながら「災害時の一時的・緊急的な住宅需要に対応が可能」と、画期的な制度と評価するデータを示しました。

次に、杉山議員は自治体が保有する全公共施設を総合的に管理する公共施設マネジメントについて質問しました。

市は、総床面積を20年後には10%、50年後には20%削減するとの方針を示しています。

杉山議員の「市営住宅

の基金の活用で保険料引き下げを、と求めてきました。今議会でも追及し、市民局長は「被保険者の保険料負担が重くなっている。基金を負担軽減に活用できるよう、来年3月議会に基金条例改正の提案をする」と明確に答弁しました。ようやく高すぎる保険料引き下げへ動き出しました。

次に上田議員は、多くの市民が利用する勤労会館や勤労青少年ホームのトイレ改修を求めました。

上田議員はこの他に、建替えられた新築市営住

**介護保険
大改悪を許すな！**

象者の内2百人が対象外、負担増が千人に。また、一定以上の所得があるとして利用料が1割から2割になった人は要介護認定者約1万9千人の15%、約2千8百人に上ります。

今後、要介護1、2の生活援助サービスの全額自己負担化や要

付減を許さない声を、ともにあげましょう。

次に野口議員は待機児童対策において決定的な保育士確保のため、市独自給与を上乗せし、処遇を改善するよう質問。

杉山議員は、南部地域の市営住宅統廃合で、甲子園九番町の新築住宅を老朽住宅からの受け皿としている事実を示し、借上げ住宅も同様にするべきだと質問。

市は「住み替え対象住宅を市内全域にすれば選択肢が広がる」と、あくまで借上げ住宅入居者を他市営住宅入居者より差別的に扱うことを正当化しました。

重ねての追及に市長は、「今、様々シミュレーション検討中」と答弁しました。

保育士の待遇改善を！

全国の自治体が取り組んでいるふるさと納税。西宮市への寄付金3765万円に対して、他自治体への寄付による収減は5億2900万円で5億円近い損失となっており、市はその解消策として、「青少年の夢応援寄付金」（基金設置）としてリニューアルを提案しました。

一部会派から「目的や目標が不明確」などの理由で、補正予算を3分の1減額するという修正案が提出され、基金設置条例は否決されました。日本共産党は「市提案は市民に不利益となる」と賛成しました。

